

2023年度業績加算金の要求は、全従業員一律1万円支給で労使合意！！



<労使協議会の議題詳細>

【月給制社員】2023年6月基本賞与
【全雇用形態】2023年6月業績加算金
【全雇用形態】2023年度業績評価指標

上記内容については、4月19日本部執行委員会での執行部案の審議決定、4月21日から27日までメンバーズVOICEにて現場説明、4月27日の分会評議員会にて最終審議決定を行いました。

4月28日の労使協議会にて賞与要求の満額回答にて労使合意となりました。

■ 4月28日（金）17：00～出席者：【会社】橋・田中・長谷川・杉本 【組合】玉谷・吉田・吉村（敬称略）

2023年6月賞与要求（基本賞与・業績加算金）概要

2023年6月賞与要求（雇用形態別支給ヶ月、評価分布要求）

- 2023年6月賞与については、以下の支給表で要求を行います。
- 基本賞与については、賞与制度がある雇用形態に対して、「平均1.00ヵ月」の要求を行います。
- 業績加算金については、全雇用形態に対して、「+1万円」の要求を行います。

<ゼネラル・メイト・スペシャルスタッフ支給表>

評価	2023年6月 賞与ヶ月	業績加算金
S	1.20	+1万円
A	1.10	
B	1.00	
C	0.90	
D	0.80	

<エルダー（月給制）・エルダースペシャルスタッフ支給表>

評価	2023年6月 賞与ヶ月	業績加算金
S	1.30	+1万円
A	1.15	
B	1.00	
C	0.85	
D	0.70	

<評価分布>

- ① ゼネラルスタッフ、メイトスタッフは「平均B以上」とすることを要求します。
- ② スペシャルスタッフは「絶対評価」とすることを要求します。
- ③ エルダー（月給制）・エルダースペシャルスタッフは「絶対評価」とすることを要求します。
※業績加算金部分（+1万円）については、全雇用形態評価反映の対象外になります。



『2023年度業績評価指標』については、2023年度春の交渉時のベースとなる考え方をもとに、前年度と同様の内容にて労使合意となりました。詳細は右記組合HP参照

【玉谷委員長コメント】

チャレンジへの労いと黒字転換の成果に報いる意義となる加算金の労使合意。
安定的な収益基盤を継続と企業価値を高め、労働条件維持、向上を目指す。

- 2022年度の函館丸井今井としては、大きな目標として掲げた、3年連続の赤字を何としても回避することについては、様々な取り組みを進めてきた中、その目標である「黒字転換」は達成する予測です。
- 主な取り組みとして、販売改革を年度方針のテーマとした新たな店舗運営モデルの構築や、中元・歳暮や学生服販売等をはじめ、外部委託費の内製化による収支構造改革の取り組みなど、全従業員が一丸となり変化にチャレンジをした結果、黒字達成に至った「大きな成果」であると捉えています。
- 基本賞与に加え、業績加算金に関する労使合意となったことについては、こうした全従業員のチャレンジへの労いと黒字転換の成果に報いるため、労使で検討した結果、合意に至ることが出来たことは意義があると捉えています。ありがとうございました。
- 今年度は、3カ年計画の2年目となり、昨年度の基盤づくりを行ってきた戦略をさらに発展することで、安定的な収益を継続してしていく位置づけにあると捉えています。
- 環境動向が今後前向きになることが予測される一方で、さらなる成果に結びつけるためには、従業員一人ひとりがチャレンジに前向きに取り組み、常に変化し続けることが必要だと捉えています。
- 売上や利益の安定化、函館における企業価値を高め、従業員の労働条件を維持、向上していく上でも、労働組合も共に様々な取り組みを進めていきたいと考えておりますので、宜しくお願いいたします。

【橋社長コメント】

22年度は変化へのチャレンジと成果を実感した1年。
次年度の営業利益目標を達成することで、地域百貨店の成功モデルを目指す。

- 2022年度の業績結果については、約3,000万円の黒字となる見込みです。
- コロナ禍の中、厳しい経営環境が続いていましたが、この2年間の取り組みの成果が出たと思っています。奮闘していただいた従業員のみならず、お取引先のスタイリストの皆さま全てに心から感謝を申し上げます。
- あわせて、6月支給賞与についても、必達としていた黒字達成や様々な変化にチャレンジし、これを成果につなげてくれた労いの意味を込めて、基本賞与の支給に加えて、少ない水準とはなりますが、加算金の支給もさせていただくことになりました。
- 一方で、ベースの年間基本賞与（年間2.00ヵ月）を引き上げていくことも必要であり、経営としても、現環境下が平時ではないという認識のもと、早期に安定した収益を継続できる企業となり、その対価を従業員が得ながら、より豊かな生活ができるようにしていきたいと思っています。
- 2022年度の営業利益予算である4,300万円は、達成できなかったものの、コロナ禍や電気料金の高騰等の環境与件がある中、黒字を達成したことはHDSからも高い評価を得ています。
- 2023年度は、営業利益予算4,200万円を達成し、地域百貨店の成功モデルを目指していく重要な位置づけになります。引き続き労使連携しながら、函館の経済と共に函館丸井今井を盛り上げていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

